第７章

水　象

7.1 柱状図

ボーリング柱状図

調　査　名　(仮称)三ケ島工業団地周辺土地区画整理事業に係る環境影響評価業務委託

ボーリングNo	5	3	3	9	5	3	6	1	0	0	1

事業・工事名　地下水位観測孔

シートNo

ボーリング名	水象①	調査位置	埼玉県所沢市林一丁目　地内					北緯	35° 48' 5.8"
発注機関	所沢市　街づくり計画部　都市計画課			調査期間	2019年 6月 3日 ～ 2019年 6月 3日			東経	139° 23' 21.2"
調査業者名	株式会社　パスコ 電話（042-631-9536）	主任技師	下條　肇	現場代理人	北野武司	コア鑑定者	深澤和寿	ボーリング責任者	高橋信男
孔口標高		角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機：ECO－1VⅡ　ハンマー落下用具：
総掘進長	4.50m								エンジン：11.3kW　ポンプ：

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
		0.80	0.80		ローム	暗茶灰～褐			含水・粘性少ない パサパサしている 深度0.60m付近まで黒ボク状を呈す 下部　亜円礫混在多く、盛土の可能性有り？	
1										
2		1.60	2.40		砂礫	暗褐灰～乳褐灰			径5～40mm前後の亜円礫主体 一部 偏平状の礫見られる 最大礫径は80mm大 マトリックスは、細砂からなる 礫種は、砂岩・頁岩等からなる 礫は、硬質である 含水は非常に少ない 深度1.30～1.90m付近、深度2.00～2.20m付近　細砂優勢となる	6/3 2.40
3		1.15	3.55		砂礫	淡黄灰～暗灰			径5～30mm位の亜円礫主体 最大礫径は70mm大 マトリックスは、細砂からなる 含水多い 深度3.00m掘進時　地下水位を確認	
4		0.95	4.50		粘土質砂礫	黄褐			径5～30mm前後の亜円礫主体 最大礫径は70mm大 マトリックスは、粘土質砂からなる 礫は硬質礫主体、一部　風化礫 含水非常に少ない	
5										

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度(m)	試験名および結果
3.85	センサー設置深度

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
0.00				
	無孔			
2.00				
2.00				
	有孔			
3.50				
	無孔			
4.50				6/3

ボーリング柱状図

調査名	(仮称)三ケ島工業団地周辺土地区画整理事業に係る環境影響評価業務委託
事業・工事名	地下水位観測孔

ボーリングNo	5	3	3	9	5	3	6	1	0	0	2

シートNo

ボーリング名	水象②	調査位置	埼玉県所沢市林一丁目　地内			北緯	35° 48' 23.5"
発注機関	所沢市　街づくり計画部　都市計画課			調査期間	2019年 6月 3日 ～ 2019年 6月 4日	東経	139° 23' 27.9"
調査業者名	株式会社　パスコ 電話（042-631-9536）	主任技師	下條　肇	現場代理人	北野武司	コア鑑定者	深澤和寿	ボーリング責任者	高橋信男
孔口標高		角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	ECO－1VⅡ	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.00m								エンジン	11.3kW	ポンプ	

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
		0.90	0.90		ローム	暗茶褐～褐			含水・粘性少ない パサパサしている 深度0.60m付近まで黒ボク状を呈す 下部　木根点在	
1 2 3		2.40	3.30		砂礫	暗褐灰			径5～30mm前後の亜円礫主体 最大礫径は70mm大 マトリックスは、細砂からなる 礫種は、砂岩・真岩等からなる 礫・玉石は、硬質である 含水非常に少ない 深度2.30m付近　径8cm大の玉石混在 深度3.20m付近　若干含水有り	6/4 2.80
4		0.70	4.00		砂礫	暗黄灰			径5～30mm前後の亜円礫主体 最大礫径は100mm大 マトリックスは、細砂からなる 含水多い 深度2.45m付近　粘土混在 最下部　玉石若干混在(コア長6cm大) 深度3.70m掘進時　地下水位を確認	
5		1.00	5.00		粘土質砂礫	淡褐			径5～10mm前後の亜円礫主体 最大礫径は40mm大 マトリックスは、粘土質砂からなる 含水は非常に少ない 礫は硬質礫主体、一部　風化礫	

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度(m)	試験名および結果
4.00	センサー設置深度

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
0.00				
2.00	無孔			
2.00				
4.00	有孔			
4.00	無孔			
5.00				6/4

ボーリング柱状図

調査名	(仮称)三ケ島工業団地周辺土地区画整理事業に係る環境影響評価業務委託
事業・工事名	地下水位観測孔

ボーリングNo 5 3 3 9 5 3 6 1 0 0 3

シートNo

ボーリング名	水象③	調査位置	埼玉県所沢市林一丁目　地内			北緯	35° 48' 25.3"
発注機関	所沢市　街づくり計画部　都市計画課			調査期間	2019年 6月 4日 ～ 2019年 6月 5日	東経	139° 23' 31.8"
調査業者名	株式会社　パスコ 電話（042-631-9536）	主任技師	下條　肇	現場代理人	北野武司	コア鑑定者	深澤和寿	ボーリング責任者	高橋信男
孔口標高		角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	ECO－1VⅡ	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.50m								エンジン	11.3kW	ポンプ	

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1		1.15	1.15		ローム	暗茶褐～褐			含水・粘性少ない パサパサしている 深度0.50m付近まで黒ボク状を呈す
2		1.65	2.80		砂礫	暗褐灰～暗黄灰			径5～30mm前後の亜円礫主体 最大礫径は60mm大 マトリックスは、細砂からなる 礫種は、砂岩・頁岩等からなる 礫・玉石は、硬質である 含水非常に少ない 最下部　コア長3cm大の玉石混在
3		1.00	3.80		砂礫	暗灰～暗黄～暗褐灰			径5～40mm位の亜円礫(一部偏平)主体 最大礫径は100mm大 マトリックスは、細砂からなる 含水多い 深度3.60m付近より、粘性土分少量混入 深度3.60m掘進時　地下水位を確認
4 5		1.70	5.50		粘土質砂礫	黄褐			深度3.80～4.15m付近まで、粘土質砂で含水多い、粒子不均一 径5～30mm位の亜円礫主体 最大礫径は50mm大 所々、粘土混在 礫は硬質礫主体、一部　風化礫 含水中位～少ない

孔内水位(m)／測定月日：6/5 2.50

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度(m)	試験名および結果
4.00	センサー設置深度

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法
0.00		
2.00	無孔	
2.00		
4.00	有孔	
5.50	無孔	

室内試験（　）

掘進月日：6/5